

園長先生 だより

vol.38

2025年6月23日

学校法人 公文学園 のびてゆく幼稚園
園長 佐藤 弘之

動物との豊かなふれあいを通して育む “やさしいきもちでのびてゆく”

今週6月25日（水）、のびてゆく幼稚園の園庭は「一日動物村」に大変身します！一日動物村のテーマは、「動物と身近に接し親しむことで、子どもたちに思いやりの心や自然への愛情を育んでもらいたい。」です。子どもたちが動物に触れ合うことの意義は以下のように言われています。

① 命の大切さを学ぶ

生きているものに対する思いやりや命の大切さを学びます。

② 共感力・思いやりが育つ

動物の気持ちを考える経験を通して、相手の立場に立つ力（共感性）が養われます。
「怖がってるかもしれない」「うれしそうだね」の感情に気づく。

③ 言葉や感情の表現が豊かになる

動物とふれあった後、「かわいかった」「フワフワしてた」「鳴いてた」など、語彙力や表現力が伸び、絵や制作で感情を表現することにもつながります。

④ 自然や生きものへの興味・関心が広がる

生きものに対する探究心が育ち、「どうして毛があるの？」
「何を食べるの？」といった主体的な学びが芽生えます。

⑤ 情緒が安定する

動物とふれあうことで安心感や癒しを得られ、気持ちが落ち着く。



学校法人 公文学園

のびてゆく幼稚園



©えんちょうせんせい